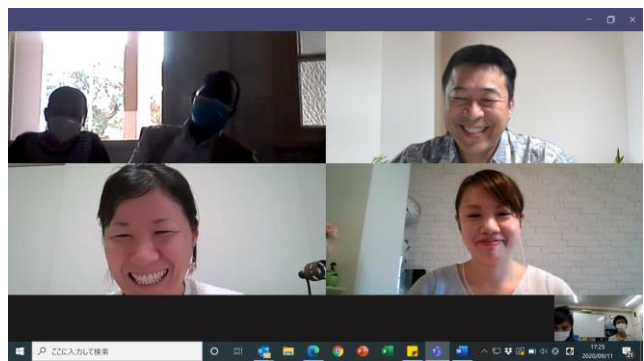


◆ 定期リモート会議開始 ◆

2020年9月28日に第1回リモート会議を実施しました。これまでもメールやプロジェクトローカルスタッフを通してコミュニケーションを取っていたものの、同じ時間に関係者がそろっての会議は初めてでした。初回のリモート会議参加者は、国家公衆衛生局リプロダクティブヘルス部長代理 Dr. Cunha、ルアンダ州保健局 Dra. Domingas、Dra. Ana Isabel、現地スタッフの Dionisio、Arsenio、日本人専門家5名の合計10名でした。国家公衆衛生局・ルアンダ州保健局・日本人専門家のそれぞれの自宅を Zoom で繋げ、プロジェクト活動の進捗と今後について話し合いました。その後、2週間ごとに定期リモート会議を実施することとしました。

第3回のリモート会議には、ベンゲラ州・ウアンボ州保健局職員も参加しました。残念ながら地方部はインターネット環境が悪く長く話せませんでした。タイムリーに顔を見て話し、現状の問題点や今後の活動について検討できるとても有意義な時間でした。今後も定期リモート会議の機会を使い、密にコミュニケーションを取っていきます。



◆ 個人防護具（PPE）の着脱についてレクチャー ◆

プロジェクトでは、ルアンダ州での拡大モニタリング&スーパービジョン（M&S）の機会を活用して、マスクやフェイスシールドなどの個人防護具（PPE）の着脱方法の指導を行っています。PPEの着脱には手順があり、その手順を誤ると感染を拡大させることになりかねません。特に手袋やマスクを脱ぐ時には表面を触って脱ぐことがないように注意が必要です。また、使用後のPPEは適切に廃棄されなければいけません。また着用前後の手指衛生も大切です。そのため、リモート会議では、州保健局スタッフへPPEの着脱方法を説明したり、注意喚起の資料を作成し、拡大M&Sの際に各保健施設の保健スタッフに指導してもらえるように依頼しています。

